2020年 12月号

京都市保育園保護者会連合協議会

市保連ニュース

発行　京都市保育園保護者会連合協議会
604-8854　京都府京都市中京区壬生仙念町 30-2
ラボール京都（京都労働者総合会館）5 階
TEL.075-801-8810 / FAX.075-822-6220
E-mail: info@shihoren.net / http://www.shihoren.net
京都市保育園保護者会連合協議会

より良い保育の実現、保育制度の充実に向けて
～2020 秋の署名が始まりました～

今年も「よりよい保育を！実行委員会」による秋の署名がスタートしました。京都市保育園保護者会連合協議会（市保連）加盟園の保護者会宛には既に発送していますが、その後の取り組みはいかがでしょうか？

密にならずに署名を集めるというのは、なかなかの難題ではありますが、子どもたちに豊かな育ちを保障するためにぜひ一人でも多くの声を国に届けましょう！

署名スタート集会が開催されました！

9 月 24 日（木）、こどもみらい館において対面とオンラインのハイブリット方式という初めての試みで、京都保育団体連絡会主催の署名スタート集会が開催されました。当日は、保護者＆保育士＆保育園から「コロナ禍においてどのような困難があるのか」というテーマでパネルディスカッションを行ないました。

保護者の立場として、市保連会長の田中がパネリストとして参加し、2020 年 5 月に市保連が実施した「新型コロナウィルスにおける世帯の生活調査」の結果をもとに、主に、

① 就学前の子どもの保護者は、日頃から仕事と育児の両立に悩んでいる中で、今回、京都市が個別事情を配慮することなく、在宅ワークは登園自粛という方針を出したことで、多くの保護者が困ったのではないか。

② 感染拡大の防止という点からは登園自粛はやむを得ないが、子どもの生活リズムや人間関係（保育園の友人や先生との関係を大事にしている）という点からみると、長期間にわたり保育園にまったく行けないというのは検討の余地がある。

③ 自粛期間中の保育園からの支援は多様であったが、孤立感を覚えたという回答も少なからずあり、「全く何もしてくれなかった」という声も見逃せない。このような緊急時だけではなく日頃の保護者と保育園の信頼関係や保護者会のあり方を見直す必要があるのではないか。

といった問題を提起しました。



保育士や保育園の立場からは、これまで経験したことの無い事態への対応に非常に苦労したこと、一方で、人数が少ない保育環境の中では子どもに「待って」という声かけをせずにゆったりと関われて良かったといった話も出ました。

このような緊急時に、自粛している個々の家庭にきめ細かい丁寧な支援が行き届くためにも、保育士の配置基準を見直すなど改めて秋の署名に取り組む意義が確認されました。

京都の保育・子育てが変わろうとしています。
～京都市の保育・子育て施策から～

まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響が続いている状況ですが、この間、京都市の施策の中でも、保育や子育て世帯に影響が出るような施策が次々に提案されています。

1.進む公立保育所の民営化

一つは、公立（市営）保育所の民営化です。

公立保育所は、そこを利用する子どもたちだけではなく、子育て支援のニーズのある家庭や障害のある子どもの積極的な受け入れ、園庭開放などを通じた地域の子育て問題の解決、低額な実費負担による利用等により、地域の子育てのセーフティネットの役割を果たしてきました。

京都市では数年前から継続的に、市内の公立保育所の民営化（民間移管）を進めており、公立保育所は 2020 年 4 月現在、14 ヶ所まで減少しています。

2014 年に民間移管の対象になった、中京区の聚楽保育所については、移管先に内定していた法人が辞退したことで、移管に向けた動きがひとまずストップしていますが、11 月には、山科区の鏡山保育所を民間移管の対象とすることが発表されました。

2.行財政審議会の議論

二つ目は、現在、「京都市持続可能な行財政審議会」が開かれ、「持続可能な行財政の確立」に向けた行財政改革の一環として、京都市の様々な独自施策の見直し（廃止・縮小を含む）が図られていることです。

子育て分野では、「保育料」「保育士の加配」「障害児保育の加配」「（障害のある子どもが使っている）福祉乗車証」「小学生のう歯対策」などが対象となっています。

8 月 17 日に開催された第 2 回の審議会では、出席した委員の中から保育関係予算の独自の上乗せに関して「他都市と比較すると、ここまで大きくする必要があるのか、もう少し縮小しないとサービスが持続的に続けられないのではないかと思う」といった発言や、小学生のう歯対策について「小学生を持つ親が、自分の子どもを育てるときに、歯磨きをしっかりさせるという、親に対する教育的な考え方もあって、その意味であまり手厚くしすぎるのもどうかなというような感じがしている」といった発言がありました。

この審議会で審議された内容の一部は、早ければ来年度の予算から反映されることになる見込みです。

3.子育て分野での自己負担の増加

三つ目には、京都市の市民税の独自減免の廃止にともない、多くの福祉サービスで自己負担の増加が見込まれることになります。

子育て分野では、「保育料」「延長保育料」「産後の支援サービス」などが対象となっています。

これらは全て、現在進行形の動きです。今の子どもたちが平等に安心して育つ環境を維持できるように、さらには今の子どもたちが大人になったときに安心して子どもを産み育てることのできる社会であるように、私たち保護者の責任として考えていかなければならないと思っています。

市保連としても、これらの動きを注視しながら、必要に応じて保護者の声を京都市に届ける活動をしていきたいと思います。

保・育・園・数・珠・つ・な・ぎ

今回は… たかつかさ保育園（京都市北区、社会福祉法人京都保育センター）です。



京都市北区にあるたかつかさ保育園は今年創立 41 年目です。

保育理念は「どの子も大事」です。

2017 年、保育所保育指針が改定され「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」等が記されたことで先生達が『たかつかさ保育園が大事にしていきたいこと』という冊子を 2018 年に作成されました。

子どもは一人ひとり異なり、関心を持つこと、目指すことも異なります。すべての子どもは、あるがままの姿でかけがえがなく、出来ることを増やすのではなく、子ども一人ひとりが自分らしく発展し卒園してからも自分らしく生きていって欲しいと先生達は望んでくれています。

そして私自身たかつかさ保育園から、乳幼児期は小学校の準備期間ではなく、子ども達は「表現の自由・感情の自由・行動の自由・心の自由」などの色々な自由を体験しながらあそびの中で「自分の苦手を、自分で克服する能力」を学び、育てていることを知りました。

毎日先生達は「あーなってほしい」、「こんな風に成長して欲しい」という考えをひとまず置いて、「それでいい」、「そのままでいい」と子ども達の全存在をとことん受け止める保育をされているので、たかつかさ保育園で過ごす日々は子ども達にとってその後の成長と人生の大きな支えになると思います。

また、たかつかさ保育園の保護者会は、新歓レクリエーション・夏祭り・平和の集い勉強会・運動会手伝い・署名活動に向けた学習会・署名活動・バザー・放射能【食の安全】に関する学習会・月間広報誌『元気』の発行・園内の安全点検などの様々な取り組みを行っています。たかつかさ保育園では、在園中に必ず一度は保護者会の本部役員を担当するため、先生や違うクラスの保護者と関わることが少なからずあり、今年はコロナ禍により中止になった行事もありますが、保護者会活動を通して保護者達も、子ども達の為に何か出来る事はないかと日々考える機会が多く、それが結果として大切な私たちの子ども達の未来へとつながっていくことを実感しています。

私達がどんな保育園を大事に思っているかを主張することはとても大切で、特に私達の代で保育士の先生達の環境・処遇改善に保育・育児に係る大人達が声を上げて改善しきらないと、きっと将来どの職業に就いてもしんどい社会が子ども達を待つことになってしまうのではないかと思っています。

今私達が抱えている行財政審議会問題・配置基準・保育士の先生達の処遇など色々な問題がありますが、このままでは次世代がまた私達と同じ問題に直面してしまい安心して子育てが出来ず、子ども達が笑顔でいられないのではないかと思います。きっと、子ども達が元気で笑顔でいられるのなら、それだけでみんなが幸せを感じられる社会になるはずです。

たかつかさ保育園の掲げる「どの子も大事」という理念の延長線上には、きっとそんな社会があるのではないかと感じています。今年はコロナ禍によりコロナ感染への対処や各地で頻発する災害などの経験から、現在の保育環境の改善意識をより一層高めていかなければならず、保護者のみんなで一緒に気持ちを一つにして、これから生まれてくる子ども達のためにもより良い保育環境を実現していけたらと思っています。

たかつかさ保育園保護者
徳永 理恵



秋の署名にご協力をお願いします

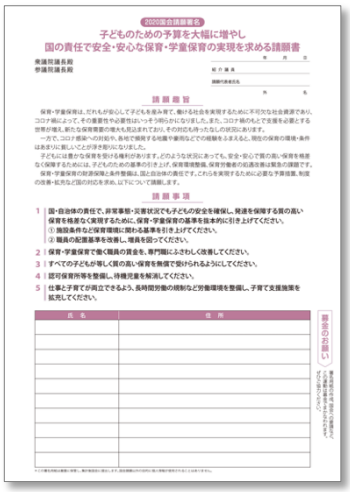
① 子どものための予算を大幅に増やし国の責任で安全・安心な保育・学童保育の実現を求める請願書（国会宛）

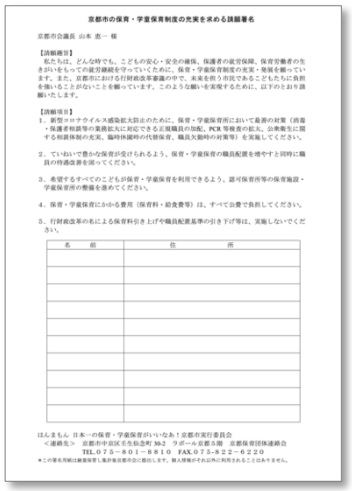
② 京都市の保育・学童保育制度の充実を求める請願署名（京都市会宛）

〇第２次締め切り　12月末

〇最終締め切り　　1月末

署名目標　５万筆！





★ 集まった署名は、市保連事務局までお届けください。
〒604-8854　京都市中京区壬生仙念町 30-2 ラボール京都５階

★ 追加の署名用紙が必要な場合は、市保連事務局（info@shihoren.net）までご連絡ください。市保連ホームページ（http://www.shihoren.net/?p=1690）に掲載しているPDFファイルを印刷していただいても結構です。

2020年度第３回保護者会活動交流会のお知らせ

2020年度第３回市保連保護者会活動交流会を開催します。

日時：12月18日（金）19時から21時
場所：京都労働者総合会館（ラボール京都）４階第９会議室
※　いつもと会場が異なります。ご注意ください。
※　保育については体制を確保しておりません。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Zoomでのリモート参加も可能です。リモート参加をご希望の方は、12月15日（火）までに市保連事務局へメール（info@shihoren.net）にてご連絡下さい。折り返し、事務局よりZoomミーティングID・レジュメなどをお送りします。

各園の保護者会役員が抱える悩みを相談し合い、他の保育園の状況についても知り、交流する機会ともなります。未加盟の保護者会、保護者個人でのオブザーバー参加も歓迎します。

お仕事と子育てで大変お忙しい日々と思いますが、皆さまぜひご参加ください！



京都市中京区壬生仙念町 30-2
阪急電車「西院駅」／京福電鉄「西院駅」／京都市バス「四条御前通」より、すぐ

★市保連メーリングリストご登録のお願い★

京都市保育園保護者会連合協議会（市保連）では保護者・保護者会相互の交流や情報交換のため、メーリングリストを設けています。この機会にぜひご登録ください。

登録をご希望の方は、保育園名・お名前と、「メーリングリスト登録希望」と記入したメールを、info@shihoren.net（市保連事務局）宛にお送りください。

『市保連ニュース』のバックナンバーは、市保連ホームページで公開中です！